

北九州観光コンベンション協会に 観光 DX サービス「Kitakyushu Travel Guide」を提供開始 ～街の活性化を生み出すプラットフォーム「にぎわい Connect」とデータアプリ基盤 「MotionBoard」の連携により、観光データの可視化・分析を実現～

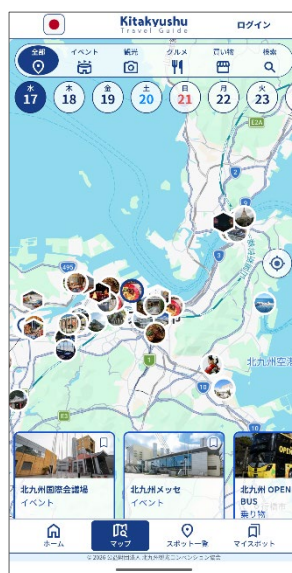
テクミラホールディングスの子会社であるネオス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:池田 昌史、以下 ネオス)と、ウイングアーク1st株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO:田中 潤、以下ウイングアーク)は、ネオスが提供する街の活性化プラットフォーム【にぎわい Connect】にウイングアークの BI×AI 共存のデータアプリ基盤「MotionBoard」を連携し、公益財団法人北九州観光コンベンション協会(所在地:福岡県北九州市、以下 北九州観光コンベンション協会)向けに観光 DX デジタルマップサービス「Kitakyushu Travel Guide」の提供を開始しました。観光データを活用することで、地域のにぎわい創出と観光体験の向上を支援します。

「Kitakyushu Travel Guide」は、小倉エリアや門司港レトロ地区などを中心とした北九州市の観光スポット・イベント・グルメ・買い物情報を、多言語対応のインタラクティブなデジタルマップでワンストップに提供するサービスです。北九州観光コンベンション協会では、第一弾として【にぎわい Connect】のデジタルマップを活用し、訪日外国人を含む国内外の旅行者が、北九州の魅力をスムーズに発見・体験できるサービスを開始しました。今後、【にぎわい Connect】の拡張機能であるスタンプラリー機能などを利用し、ユーザの利便性と地域の回遊性向上に繋げる予定です。

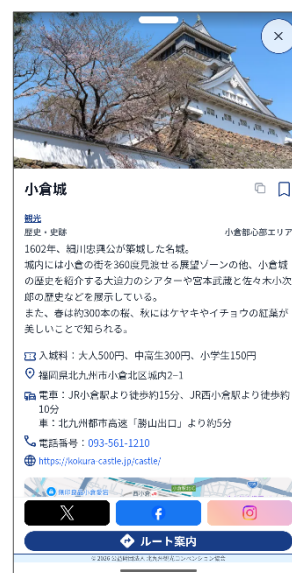
▼「Kitakyushu Travel Guide」サービス画面



ホーム画面



マップ画面



スポット詳細画面

取り組みの背景と目的

近年、インバウンド需要の回復と旅行者の多様化に伴い、観光地における情報提供のデジタル化・多言語化が急務となっています。また、スタンプラリーやクーポン配布など、来訪者の回遊性を高める取り組みが観光地活性化の重要な施策として注目されています。

一方で、観光に関連するデジタルサービスが個別に分散していることで、利用者にとっては横断的な体験が難しく、事業者側でも横串でのデータ分析・活用が困難な状況でした。

こうした課題に対応するため、ネオスとウイングアークは連携し、統合されたプラットフォームによる「観光 DX の実現」を目指して本サービスの提供を開始いたしました。

【にぎわい Connect】について

【にぎわい Connect】は、ネオスが開発・提供するオリジナルデジタルマップをベースとした「街の活性化プラットフォーム」です。観光に必要なあらゆるデジタルサービスをワンストップで統合し、以下の機能をオンデマンドで拡張・利用することができます。

- **デジタルマップ**:ひと目で分かる画像ピン、瞬時に切り替わるマップレイヤー、地域のスポット・イベントを日別・多言語表示
- **スタンプラリー**:ダウンロード不要で QR コードからすぐに参加可能なモバイルスタンプラリー機能で回遊率を向上
- **クーポン**:スポットやイベントでのデジタルクーポン発行・配布、利用率向上を支援
- **予約システム連携**:ツアー・周辺の飲食店や観光施設の予約システムとシームレスに連携
- **アンケート**:スポット訪問者のリアルな声を収集し、キャンペーンやリピート施策に活用
- **多言語表示**:生成 AI を活用したコンテンツの多言語自動対応
- **データ統合・ダッシュボード**:各サービスの利用データを統合し、「MotionBoard」による可視化・分析

▼ 【にぎわい Connect】機能一覧



■ BI×AI 共存のデータアプリ基盤「MotionBoard」との統合によるデータ活用

【にぎわい Connect】には、ウイングアークの「MotionBoard」が統合されています。スタンプラリーの参加状況、クーポン利用率、スポットへの注目度など、各種デジタルサービスから取得されるデータをリアルタイムに可視化・分析することが可能です。

これにより、北九州観光コンベンション協会は、これまでは取得できなかった新しいデータ視点を活用した観光施策の立案・改善サイクルを実現できます。

■ 今後の展開

両社は今後、【にぎわい Connect】を通じた観光 DX の取り組みを北九州市から全国に展開するとともに、生成 AI を活用したコンテンツ自動生成・多言語翻訳機能の強化や、データ分析による観光消費拡大施策の提案など、観光地の活性化に向けたソリューションの充実を図ってまいります。また、データと AI を活用した観光地経営を支援することで、地域活性化に貢献するソリューションのさらなる充実を図ってまいります。

■ 「Kitakyushu Travel Guide」サービス概要

サービス名	Kitakyushu Travel Guide
提供元	公益財団法人 北九州観光コンベンション協会
対象エリア	北九州市(小倉エリアや門司港レトロ地区などを中心とした市内主要観光スポット)
主な機能	観光スポット・イベント・グルメ・買い物情報のデジタルマップ表示、多言語対応、スタンプラリー、クーポン配布、予約システム連携、利用者や地域の施設/店舗のマーケティング・回遊分析
URL	https://kitakyushudigitalmap.com/home

■ 「MotionBoard」について

BI×AI 共存のデータアプリ基盤「MotionBoard」は、生成 AI との共存・相乗効果を生み出します。データからリアルタイムに状況を把握でき、製造業、小売業、金融などをはじめ各業界、業種にわたり 4,100 社以上※の導入実績があります。企業で利用している現場データやシステムデータに連携できるため、企業情報のリアルタイムなデータ活用とスピーディな判断を支援します。またウイングアークは、「日経コンピュータ 2025 年 9 月 4 日号 顧客満足度調査 2025-2026」データ分析・利活用支援ソフト／サービス部門において 4 年連続 1 位を獲得しています。

※クラウド版とパッケージ版の累積社数(2026 年 2 月末)

<ネオスについて>

【商号】ネオス株式会社

【本社】東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

【URL】<https://www.neoscorp.jp>

【代表者】池田 昌史

【事業内容】情報通信サービスおよびソフトウェア、コンテンツ開発

<ウイングアーク 1st について>

【商号】ウイングアーク 1st 株式会社

【本社】東京都港区六本木三丁目 2 番 1 号 六本木グランドタワー

【URL】<https://corp.wingarc.com/>

【代表者】田中 潤

【事業内容】データエンパワーメントカンパニーとして、データの収集・蓄積・分析・活用を支援するソフトウェア・クラウドサービスの開発・販売

<テクミラホールディングスについて>

【商号】テクミラホールディングス株式会社

【本社】東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

【上場市場】東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード:3627)

【代表者】池田 昌史

【URL】<https://www.tecmira.com>

【グループ事業内容】

◆ライフデザイン事業

ゲームの開発・販売やキッズ向け知育サービス等コンシューマ向けビジネスの展開、HealthTech、FinTech、EdTech、HRTech 等 Tech サービスの提供

◆AI&クラウド事業

AI チャットやクラウドアドレス帳サービスなどの SaaS、DX および AI ソリューションの提供

◆IoT&デバイス事業

Edge IoT やタブレット PC 等の ICT 製品等の開発・製造、カスタマーサポート業務受託

＜このニュースリリース・素材の提供に関するお問合せ先＞

テクミラホールディングス株式会社

担当： 経営企画部 広報チーム

Email: info@tecmira.com

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

<https://www.tecmira.com/>

※記載されている社名、製品名、ブランド名、サービス名は、すべて各社の商標または登録商標です。